

3

午後

(13時30分～15時30分)

問 題


- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

貼付欄	 0A-0001	受験番号 0A-0001	氏名 心理 花子
-----	---	-----------------	-------------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマーク

すればよい。

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	●	③	④

1	1
①	①
②	●
③	③
④	④

[例 2] 我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	④	●

2	2
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	●

[例 3] 次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④にマークすればよい。

② 倉敷市

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	①	②	●	●	⑤

3	3
①	①
②	②
③	●
④	●
⑤	⑤

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○◎⊗⊙⓪ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 公認心理師が、成人のクライアントの心理に関する情報を医療チームに提供する場合に事前に必要なものとして、正しいものを1つ選べ。

- ① 成年後見人の同意
- ② クライアント本人の同意
- ③ 医療チームが作成した手順書
- ④ スtrenグス・アセスメント
- ⑤ シェアード・ディシジョン・メイキング

問79 精神科領域における公認心理師の活動について、適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症患者に対するソーシャルスキルトレーニング〈SST〉は、個別指導が最も効果的とされる。
- ② 神経性やせ症／神経性無食欲症の患者が身体的话题を嫌う場合、身体症状に触れずに心理療法を行う。
- ③ 精神疾患への心理教育は、家族を治療支援者とするためのものであり、当事者には実施しない場合が多い。
- ④ 境界性パーソナリティ障害の治療では、患者への支援だけでなく、必要に応じてスタッフへの支援も行う。
- ⑤ 妊産婦に精神医学的問題がある場合、産科医が病状を把握していれば、助産師と情報を共有する必要はない。

問80 心理学の研究法において、質問紙法と比較したときの面接法の特徴として、適切なものを1つ選べ。

- ① 臨機応変な対応が困難である。
- ② 回答者に与える心理的圧力が弱い。
- ③ 回答者の個別の反応を収集しにくい。
- ④ データの収集に手間と時間がかかる。
- ⑤ 高齢者や幼い子どもには負担が大きい。

問81 個体を最もよく識別できるように、観測変数の重みつき合計得点を求める方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 因子分析
- ② 重回帰分析
- ③ 主成分分析
- ④ 正準相関分析
- ⑤ クラスタ分析

問82 2×2 のクロス集計表における 2 変数間の関連性を示す指標として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 偏相関係数
- ② 順位相関係数
- ③ 積率相関係数
- ④ 部分相関係数
- ⑤ 四分点相関係数

問83 ヒトの聴覚について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 蝸牛にある聴覚受容器は、双極細胞と呼ばれる。
- ② 音源定位には、両耳間時間差と両耳間強度差が用いられる。
- ③ ピッチ知覚の場所説は、高周波音の知覚の説明が困難である。
- ④ 聴覚感度は、可聴域内で周波数が高くなるほど単調に減少する。
- ⑤ 主観的な音の大きさであるラウドネスの単位は、デシベルである。

問84 学習の生物的制約を示した実験の例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① E. L. Thorndike が行ったネコの試行錯誤学習の実験
- ② H. F. Harlow が行ったアカゲザルの学習セットの実験
- ③ J. Garcia らが行ったラットの味覚嫌悪学習の実験
- ④ M. E. P. Seligman らが行ったイヌの学習性無力感の実験
- ⑤ W. Köhler が行ったチンパンジーの洞察学習の実験

問85 パーソナリティの理論について、正しいものを1つ選べ。

- ① 場理論では、環境とパーソナリティの二者関係をモデル化する。
- ② 期待－価値理論では、個人が生得的に有する期待、価値の観点からパーソナリティの個人差を考える。
- ③ 5因子理論では、5つの特性の上位に、行動抑制系、行動賦活系という2つの動機づけシステムを仮定する。
- ④ 認知－感情システム理論では、個人の中に認知的・感情的ユニットを仮定し、パーソナリティの構造を捉える。
- ⑤ パーソナル・コンストラクト理論では、個人の中にコンストラクトと呼ばれる単一の認知的枠組みを仮定する。

問86 ヒトのサーカディアンリズムと睡眠について、正しいものを1つ選べ。

- ① 加齢による影響を受けない。
- ② メラトニンは、光刺激で分泌が低下する。
- ③ 時計中枢は、視床下部の室傍核に存在する。
- ④ 睡眠相遅延(後退)症候群は、夕方から強い眠気が出る。
- ⑤ ノンレム睡眠とレム睡眠は、約45分の周期で出現する。

問87 社会的排斥の原因を説明する理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 衡平理論
- ② バランス理論
- ③ 社会的交換理論
- ④ 社会的インパクト理論
- ⑤ 社会的アイデンティティ理論

問88 精神疾患の診断・統計マニュアル改訂第5版〈DSM-5〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 機能の全体的評価を含む多軸診断を採用している。
- ② 次元モデルに基づく横断的症候尺度が導入されている。
- ③ 強迫症／強迫性障害は、不安症候群／不安障害群に分類される。
- ④ 生活機能を心身機能・身体構造、活動及び参加の3要素で捉えている。
- ⑤ 分離不安症／分離不安障害は、「通常、幼児期、小児期または青年期に初めて診断される障害」に分類される。

問89 知能検査の実施について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 検査者が十分に習熟していない検査を用いることを控えた。
- ② 被検査者に求められたため、検査用紙をコピーして渡した。
- ③ 客観的情報を収集するために、被検査者とのラポール形成を避けた。
- ④ 被検査者が検査に対する先入観や恐怖心を抱かないように、事前に検査について説明することを控えた。
- ⑤ 実施時間が2時間を超え、被検査者が疲れている様子であったが、そのまま続けて全ての検査項目を実施した。

問90 MMPI の実施と解釈について、正しいものを1つ選べ。

- ① 各質問項目には、5件法で回答する。
- ② 追加尺度は、20尺度開発されている。
- ③ F尺度は、心理的防衛の高さを示している。
- ④ 第5尺度(Mf)は、性別により解釈基準が異なる。
- ⑤ 第0尺度(Si)と第7尺度(Pt)が90の場合は、精神的混乱状態と解釈できる。

問91 集団や組織、コミュニティにおいて、無力な状態にある人々が自らの中に力があることに気づき、能動的にそれを使い、環境の変化を求めていけるようになることを何とというか、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己実現
- ② コーピング
- ③ 自己効力感
- ④ コンピテンス
- ⑤ エンパワメント

問92 うつ病を疑わせる発言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 眠る必要はないと思います。
- ② いつも誰かに見られている気がします。
- ③ 何をするのもおっくうで面倒くさいです。
- ④ 人前で何かするときにとっても不安になります。
- ⑤ 鍵がかかっているかを何度も確認したくなります。

問93 物質関連障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 物質への渴望や強い欲求を身体依存という。
- ② 物質の使用を完全に中止した状態を離脱という。
- ③ 身体的に危険な状況にあっても物質の使用を反復することを中毒という。
- ④ 同じ効果を得るために、より多くの物質の摂取が必要になることを耐性という。
- ⑤ 物質の反復使用により出現した精神症状が、再使用によって初回よりも少量で出現するようになることを乱用という。

問94 遺伝カウンセリングにおいて、経験的再発危険率が最も重要な疾患として、正しいものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② ダウン症候群
- ③ Huntington 病
- ④ 家族性 Alzheimer 病
- ⑤ 筋緊張性ジストロフィー症

問95 災害時の保健医療支援体制について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉は、都道府県医師会によって組織される。
- ② 災害拠点病院は、高度の医療を提供できる400床以上の病院の中から厚生労働省が指定する。
- ③ 災害派遣医療チーム〈DMAT〉は、各都道府県で実施する養成研修の修了者によって構成される。
- ④ 災害医療コーディネーターは、所定の研修を修了した者に対して厚生労働省が付与する資格である。
- ⑤ 広域災害救急医療情報システム〈EMIS〉は、インターネット上で災害時の医療情報の共有を図るシステムである。

問96 Clinical Dementia Rating<CDR>について、正しいものを1つ選べ。

- ① 介護必要度に関する評価はしない。
- ② 質問調査による他者評価尺度である。
- ③ 健常と認知症の境界は、0.5点である。
- ④ 判定には、家族からの情報は考慮されない。
- ⑤ 人の見当識障害は、中等度障害と判定される。

問97 MMSE について、正しいものを1つ選べ。

- ① 非言語性課題が3問ある。
- ② 人の見当識課題は含まれない。
- ③ シリアル7課題(100から7を順に引く)は4回まで行う。
- ④ 直後再生課題に続く4課題の後に、遅延再生課題が実施される。
- ⑤ 直後再生課題では、全ての名称を言えるまで4回繰り返して尋ねる。

問98 学びは多様であるが、例えば洋裁を学ぶ際に、工房に弟子入りし、仕上げ、縫製、裁断などの作業に従事し、やがて一人前となるような学びを説明する概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 問題練習法
- ② ジグソー学習
- ③ 問題解決学習
- ④ 正統的周辺参加
- ⑤ プログラム学習

問99 我が国のキャリア教育において、文部科学省が示した小学校段階のキャリア発達の特徴について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 低学年では、計画づくりの必要性に気づき、作業の手順が分かる。
- ② 低学年では、仕事における役割の関連性や変化に気づくようになる。
- ③ 中学年では、将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。
- ④ 高学年では、自分のことは自分で行うようになる。
- ⑤ 高学年では、自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮するようになる。

問100 教育場面におけるパフォーマンス評価のための評価指標を示すものとして、正しいものを1つ選べ。

- ① ルーブリック
- ② ポートフォリオ
- ③ テスト・リテラシー
- ④ ドキュメンテーション
- ⑤ カリキュラム・マネジメント

問101 2016年(平成28年)から2018年(平成30年)までの少年による刑法犯犯罪について、正しいものを1つ選べ。

- ① 検挙人員は減少している。
- ② 共犯者がいるものは60%以上である。
- ③ 検挙されたもののうち、学生・生徒は30%以下である。
- ④ 14歳から15歳の検挙人員は、16歳から17歳の検挙人員よりも多い。
- ⑤ 殺人・強盗・放火・強制性交等(強姦)の凶悪事件は10%程度である。

問102 社会的勢力は、組織や集団の目標を実現するためのリーダーの影響力の基盤となる。このうち、メンバーがリーダーに対して好意や信頼、尊敬を抱くことで、自らをリーダーと同一視することに基づく勢力として、正しいものを1つ選べ。

- ① 強制勢力
- ② 準拠勢力
- ③ 正当勢力
- ④ 専門勢力
- ⑤ 報酬勢力

問103 大脳皮質運動関連領域の構造と機能について、正しいものを1つ選べ。

- ① 運動前野は、運動に対する欲求に関わる。
- ② 補足運動野は、運動の準備や計画に関わる。
- ③ 一次運動野は、体幹や四肢の平衡の維持に関わる。
- ④ 一次運動野は、Brodmann の6野に位置している。
- ⑤ 一次運動野が障害されると、同側の対応する筋に麻痺が生じる。

問104 神経性やせ症／神経性無食欲症の病態や治療について、正しいものを1つ選べ。

- ① うつ病が合併することは少ない。
- ② 未治療時は、しばしば頻脈を呈する。
- ③ 無月経にならないことが特徴である。
- ④ 心理社会的要因に加え、遺伝的要因も発症に関与する。
- ⑤ 未治療時に、しばしばリフィーディング症候群を発症する。

問105 双極性障害について、適切なものを1つ選べ。

- ① 遺伝的要因は、発症に関与しない。
- ② うつ病相は、躁病相よりも長く続く。
- ③ 自殺のリスクは、単極性うつ病よりも低い。
- ④ うつ病相に移行したら、気分安定薬を中止する。
- ⑤ 気分の変動に伴ってみられる妄想は、嫉妬妄想が多い。

問106 向精神薬の薬物動態について、適切なものを1つ選べ。

- ① 胆汁中に排泄される。
- ② 主に腎臓で代謝される。
- ③ 代謝により活性を失う。
- ④ 薬物の最高血中濃度は、効果発現の指標になる。
- ⑤ 初回通過効果は、経静脈的投与の際に影響が大きい。

問107 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉に基づく精神障害者の入院について、正しいものを1つ選べ。

- ① 応急入院は、市町村長の同意に基づいて行われる。
- ② 措置入院は、72時間を超えて入院することはできない。
- ③ 措置入院は、2名以上の精神保健指定医による診察を要する。
- ④ 緊急措置入院は、家族等の同意に基づいて緊急になされる入院をいう。
- ⑤ 医療保護入院は、本人と家族等の双方から書面による意思確認に基づいて行われる。

問108 労働基準法に基づく年次有給休暇について、正しいものを1つ選べ。

- ① 雇入れの日から3か月間継続勤務した労働者に対して付与される。
- ② 原則として、法定休日を除き連続して4日間以上の年次有給休暇の取得は認められていない。
- ③ 週所定労働日数及び週所定労働時間によって、付与される年次有給休暇の日数が異なる場合がある。
- ④ パートタイム労働者への年次有給休暇の付与は、法による定めはなく、各事業者の方針によって決定される。
- ⑤ 事業の正常な運営が妨げられる場合においても、労働者は希望した日に年次有給休暇を取得することができる。

問109 公認心理師の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 親友に頼まれて、その妹の心理療法を開始した。
- ② カウンセリング中のクライアントに自傷他害のおそれが出現したため、家族に伝えた。
- ③ 治験審査委員会が承認した第Ⅲ相試験で心理検査を担当し、製薬会社から報酬を得た。
- ④ カウンセリング終結前に転勤が決まり、クライアントへの配慮をしながら、別の担当者を紹介した。
- ⑤ 1年前から家庭内暴力〈DV〉を受けているクライアントの裁判に出廷し、クライアントの同意を得た相談内容を開示した。

問110 心理臨床の現場で働く公認心理師の成長モデルとスーパービジョンについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① 自己研さんの1つとして、教育分析がある。
- ② 公認心理師の発達段階に合わせたスーパービジョンが必要である。
- ③ 自己課題の発見や自己点検といった内省の促進は、スーパービジョンの目的である。
- ④ M. H. Rønnestad と T. M. Skovholt は、カウンセラーの段階的な発達モデルを示した。
- ⑤ 経験の浅い公認心理師のスーパービジョンにおいては、情緒的な支えよりも技術指導が重要である。

問111 児童虐待防止対策における、児童相談所の体制及び関係機関間の連携強化について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 児童心理司を政令で定める基準を標準として配置する。
- ② 第三者評価など、児童相談所の業務の質の評価を実施する。
- ③ 都道府県は、一時保護などの介入対応を行う職員と、保護者支援を行う職員を同一の者とする。
- ④ 学校、教育委員会、児童福祉施設等の職員は、職務上知り得た児童に関する秘密について守秘義務を負う。
- ⑤ 家庭内暴力〈DV〉対策と児童虐待対応の連携を強化し、婦人相談所や配偶者暴力相談支援センターなどとの連携・協力を行う。

問112 流動性知能の特徴として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 図形を把握する問題で測られる。
- ② いわゆる「頭の回転の速さ」と関連する。
- ③ 学校教育や文化的環境の影響を受けやすい。
- ④ 新しい課題に対する探索的問題解決能力である。
- ⑤ 結晶性知能と比べて能力のピークが早期に訪れる。

問113 A. D. Baddeley のワーキングメモリ・モデルのサブシステムとして、誤っているものを1つ選べ。

- ① 感覚貯蔵
- ② 音韻ループ
- ③ 中央実行系
- ④ エピソード・バッファ
- ⑤ 視空間スケッチパッド

問114 U. Neisser が仮定する 5 つの自己知識について、不適切なものを 1 つ選べ。

- ① 公的自己
- ② 概念的自己
- ③ 対人的自己
- ④ 生態学的自己
- ⑤ 拡張的／想起的自己

問115 発達障害のある子どもの親を対象としたペアレント・トレーニングについて、不適切なものを 1 つ選べ。

- ① 育児から生じるストレスによる悪循環を改善する。
- ② 対象は母親に限定していないが、参加者の多くは母親である。
- ③ 親と子どもが一緒に行うプレイセラピーを基本として発展してきた。
- ④ 子どもへの関わり方を学ぶことで、より良い親子関係を築こうとするものである。
- ⑤ 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉のある子どもの親に有効である。

問116 動機づけ面接の基本的スキルとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① クライアントが今までに話したことを整理し、まとめて聞き返す。
- ② クライアントの答え方に幅広い自由度を持たせるような質問をする。
- ③ クライアントの思いを理解しつつ、公認心理師自身の心の動きにも敏感になる。
- ④ クライアントの気づきをより促すことができるように、言葉を選んで聞き返す。
- ⑤ クライアントの話の中からポジティブな部分を強調し、クライアントの価値を認める。

問117 公認心理師が留意すべき職責や倫理について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 心理的支援に関する知識及び技術の習得など資質向上に努めなければならない。
- ② 法律上の「秘密保持」と比べて、職業倫理上の「秘密保持」の方が広い概念である。
- ③ 心理的支援の内容・方法について、クライアントに十分に説明を行い、同意を得る。
- ④ 心理状態の観察・分析などの内容について、適切に記録し、必要に応じて関係者に説明ができる。
- ⑤ クライアントの見捨てられ不安を防ぐため、一度受理したケースは別の相談機関に紹介(リファー)しない。

問118 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉が施行された2000年(平成12年)から2018年(平成30年)までの間、児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加しているが、その背景として想定されるものの中で、不適切なものを1つ選べ。

- ① 警察との連携強化により、警察からの通告が急増した。
- ② 児童相談所全国共通ダイヤルの運用などにより、社会的意識が高まった。
- ③ 相談対応件数全体におけるネグレクトによる通告件数の割合が急増した。
- ④ 子どもの面前の家庭内暴力〈DV〉が心理的虐待に含まれるようになった。
- ⑤ きょうだい児への虐待は、他のきょうだい児への心理的虐待であるとみなされるようになった。

問119 学級経営について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 学級集団のアセスメントツールには、Q-Uなどがある。
- ② 学級経営には、教師のリーダーシップスタイルの影響が大きい。
- ③ 学級づくりの1つの方法として、構成的グループエンカウンターがある。
- ④ 学校の管理下における暴力行為の発生率は、小学校より中学校の方が高い。
- ⑤ 問題行動を示す特定の児童生徒が教室内にいる場合、その児童生徒の対応に集中的に取り組む。

問120 慢性疲労症候群について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 男性より女性に多い。
- ② 筋肉痛がよくみられる。
- ③ 睡眠障害がよくみられる。
- ④ 6か月以上持続する著しい倦怠感が特徴である。
- ⑤ 体を動かすことによって軽減する倦怠感が特徴である。

問121 発達障害者支援法について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 発達支援には、医療的援助も含まれる。
- ② 支援対象には、18歳未満の者も含まれる。
- ③ 支援対象には、発達障害者の家族も含まれる。
- ④ 国の責務の他に、地方公共団体の責務も定められている。
- ⑤ 支援は、個々の発達障害者の性別、年齢及び障害の状態に関係なく、一律に行う。

問122 学校教育法施行規則において、小学校及び中学校のいずれにも設置が規定されていないものを1つ選べ。

- ① 学年主任
- ② 教務主任
- ③ 保健主事
- ④ 教育相談主任
- ⑤ 進路指導主事

問123 保護観察所の業務として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 精神保健観察を実施する。
- ② 仮釈放者に対する保護観察を実施する。
- ③ 遵守事項違反による仮釈放の取消しを行う。
- ④ 保護観察に付された者に対する恩赦の上申を行う。
- ⑤ 少年院に入院中の少年に対する生活環境の調整を実施する。

問124 チーム医療について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 多職種でのカンファレンスは、議論や検討の場ではない。
- ② 医療に従事する多種多様な医療スタッフが、場所を共有する。
- ③ 患者自身がチームの意思決定や治療選択に関わることはない。
- ④ 各職種の機能と役割について、互いに知っておくことが必要である。

問125 J. E. Marcia が提起した自我同一性地位について、正しいものを1つ選べ。

- ① 同一性達成型とは、人生上の危機を経験し、職業などの人生の重要な領域に積極的に傾倒している地位である。
- ② 早期完了型とは、人生上の危機を発達早期に経験し、職業などの人生の重要な領域に積極的に傾倒している地位である。
- ③ モラトリアム型とは、人生上の危機を経験しておらず、職業などの人生の重要な領域に積極的に傾倒していない地位である。
- ④ 同一性拡散型とは、人生上の危機を経験していないが、職業などの人生の重要な領域に積極的に傾倒しようと努力している地位である。

問126 DSM-5の急性ストレス障害〈Acute Stress Disorder〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 主な症状の1つに、周囲または自分自身の現実が変容した感覚がある。
- ② 心的外傷的出来事は、直接体験に限られ、他者に生じた出来事の見撃は除外される。
- ③ 6歳以下の場合、死や暴力、性被害などの心的外傷体験がなくても発症することがある。
- ④ 心的外傷的出来事の体験後、2週間以上症状が持続した場合は心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉に診断を切り替える。

問127 作業同盟(治療同盟)に関する実証研究について、正しいものを1つ選べ。

- ① 作業同盟が強固であるほど、介入効果は良好である。
- ② 作業同盟の概念には、課題に関する合意は含まれない。
- ③ 作業同盟の効果は、対人プロセス想起法によって測定される。
- ④ 作業同盟が確立していることは、心理療法の介入効果の必要十分条件である。

問128 感情と文化の関連性について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 各文化にはそれぞれ特異な社会的表示規則があり、それによって感情表出が大きく異なり得る。
- ② 社会的構成主義によれば、それぞれの文化に固有の感情概念や感情語によって、感情経験が大きく異なり得る。
- ③ 日米比較研究によれば、見知らぬ他者と同席するような状況では、概して日本人は表情が乏しくなる傾向がある。
- ④ 日本で優勢とされる相互協調的自己の文化では、米国で優勢とされる相互独立的自己の文化に比して、怒りや誇りが経験されやすい。

問129 副交感神経系が優位な状態として、正しいものを2つ選べ。

- ① 血管拡張
- ② 血糖上昇
- ③ 瞳孔散大
- ④ 胃酸分泌の減少
- ⑤ 消化管運動の亢進

問130 生物心理社会モデルに共通する考え方を含んでいるものとして、適切なものを2つ選べ。

- ① DSM-5
- ② HTP テスト
- ③ 洞察の三角形
- ④ Cannon-Bard 説
- ⑤ 国際生活機能分類<ICF>

問131 むずむず脚症候群について、正しいものを2つ選べ。

- ① 妊婦に多い。
- ② 鉄欠乏性貧血患者に多い。
- ③ 運動によって症状は増悪する。
- ④ 早朝覚醒時に出現する異常感覚が特徴である。
- ⑤ 選択的セロトニン再取り込み阻害薬<SSRI>によって症状が改善する。

問132 アルコール依存症の離脱症状について、正しいものを2つ選べ。

- ① 過眠
- ② 幻視
- ③ 徐脈
- ④ 多幸
- ⑤ けいれん

問133 高齢者に副作用の少ない睡眠薬として、適切なものを2つ選べ。

- ① バルビツール酸系薬剤
- ② フェノチアジン系薬剤
- ③ オレキシン受容体拮抗薬
- ④ メラトニン受容体作動薬
- ⑤ ベンゾジアゼピン受容体作動薬

問134 社会状況の変遷によって、子どもの不登校もその発生や捉え方も変遷してきた。この不登校の現象について、適切なものを2つ選べ。

- ① 1960年代に、ニューカマー家庭の不就学が問題となった。
- ② 1980年代の詰め込み教育の時代に、学校恐怖症が発見された。
- ③ 1990年前後のバブル経済の時代に、登校拒否という言葉が生まれた。
- ④ 2000年代の児童虐待防止法改正以降、居所不明児が注目された。
- ⑤ 現在、不登校の子どもを対象とする特別の教育課程を編成することができる。

(注：「児童虐待防止法」とは、「児童虐待の防止等に関する法律」である。)

問135 健康日本21(第二次)において、こころの健康として数値目標が設定されている精神障害として、適切なものを2つ選べ。

- ① 依存症
- ② 気分障害
- ③ 適応障害
- ④ 発達障害
- ⑤ 不安障害

問136 1歳の女児A。Aは離婚した母親Bと共に、Bの実家で祖父母や叔母と住んでいる。実家の敷地内には、伯父夫婦やいとこが住んでいる家もある。昼過ぎから深夜にかけて仕事に出ているBに代わり、祖父母や叔母がときどき農作業の手を休めて、Aの世話をしている。いとこたちが学校や幼稚園から帰宅すると、Aは年長のいところに見守られ、ときには抱っこされながら、夕食までの時間を過ごしている。

Aに対する養育の解釈として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① クーイング
- ② コーチング
- ③ マザリーズ
- ④ ミラーリング
- ⑤ アロマザリング

問137 30歳の男性 A、会社員。独身で一人暮らしである。A は、職場での不適應感を訴えて精神科を受診した。幼少期から心配性と言われてきたが、ここ半年ほどでその傾向が一層強まってきた。仕事で失敗したり、失業したりするのではないか、重大な病気にかかっているのではないかなど気になって仕方がない。自分でも心配しすぎだと分かってはいるが、いらいらし、仕事にも集中できず、疲労がつのる。寝つきも悪く、しばしば早朝に覚醒してしまうこともある。

医師から A の状態をアセスメントするよう依頼された公認心理師が、A に実施するテストバッテリーに含めるものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① AQ-J
- ② CAPS
- ③ GAD-7
- ④ LSAS-J
- ⑤ Y-BOCS

問138 37歳の男性 A、会社員。A は、大学卒業後、製造業に就職し、約10年従事したエンジニア部門から1年前に管理部門に異動となった。元来、完璧主義で、慣れない仕事への戸惑いを抱えながら仕事を始めた。しかし、8か月前から次第に仕事がたまるようになり、倦怠感が強まり、欠勤も増えた。その後、6か月前に抑うつ気分と気力の低下を主訴に精神科を受診し、うつ病と診断された。そして、抗うつ薬による薬物療法の開始と同時に休職となった。しかし、主治医による外来治療を6か月間受けたが、抑うつ症状が遷延している。院内の公認心理師に、主治医から A の心理的支援が依頼された。

このときの A への対応として、最も優先されるべきものを1つ選べ。

- ① 散歩を勧める。
- ② HAM-D を行う。
- ③ うつ病の心理教育を行う。
- ④ 認知行動療法の導入を提案する。
- ⑤ 発症要因と症状持続要因の評価を行う。

問139 87歳の女性A。Aは、軽度のAlzheimer型認知症であり、日常生活において全面的に介助が必要である。特別養護老人ホームのショートステイ利用中に、介護士Bから虐待を受けているとの通報が、同僚から上司に寄せられた。施設の担当者がAに確認したところ、Bに太ももを平手で叩かれながら乱暴にオムツを替えられ、荒々しい言葉をかけられたとのことであった。Aは、夫と死別後、息子夫婦と同居したが、家族とは別の小屋のような建物で一人離れて生活させられていた。食事は、家族が気が向いたときに残り物を食べさせられ、食べ残すと強く叱られたことも、今回の調査で判明した。

AがBと家族の双方から受けている共通の虐待として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 性的虐待
- ② 経済的虐待
- ③ 身体的虐待
- ④ 心理的虐待
- ⑤ ネグレクト

問140 75歳の男性A。Aの物忘れを心配した妻の勧めで、Aは医療機関を受診し、公認心理師Bがインタビュー面接を担当した。Bから「今日は何日ですか」と聞かれると、「この年になったら日にちなんか気にしないからね」とAは答えた。さらに、Bから「物忘れはしますか」と聞かれると、「多少しますが、別に困っていません。メモをしますから大丈夫です」とAは答えた。

Aに認められる症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 抑うつ状態
- ② 取り繕い反応
- ③ 半側空間無視
- ④ 振り返り徴候
- ⑤ ものとられ妄想

問141 16歳の男子A、高校1年生。Aは、友達と一緒に原動機付自転車の無免許運転をしていたところを逮捕され、これを契機に、教師に勧められ、スクールカウンセラーBのもとを訪れた。Aには非行前歴はなく、無免許運転についてしきりに「友達に誘われたからやった」「みんなやっている」「誰にも迷惑をかけていない」などと言い訳をした。Bは、Aの非行性は進んでいるものではなく、善悪の区別もついているが、口実を見つけることで非行への抵抗を弱くしていると理解した。

BがAの非行を理解するのに適合する非行理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A. K. Cohen の非行下位文化理論
- ② D. Matza の漂流理論
- ③ E. H. Sutherland の分化的接触理論
- ④ T. Hirschi の社会的絆理論
- ⑤ T. Sellin の文化葛藤理論

問142 55歳の男性A、会社員。Aの妻Bが、心理相談室を開設している公認心理師Cに相談した。Aは、元来真面目な性格で、これまで常識的に行動していたが、2、3か月前から身だしなみに気を遣わなくなり、部下や同僚の持ち物を勝手に持ち去り、苦情を受けても素知らぬ顔をするなどの行動が目立つようになった。先日、Aはデパートで必要とは思われない商品を次々とポケットに入れ、支払いをせずに店を出て、窃盗の容疑により逮捕された。現在は在宅のまま取調べを受けている。Bは、逮捕されたことを全く意に介していない様子のAについて、どのように理解し、対応したらよいかをCに尋ねた。

CのBへの対応として、最も優先度が高いものを1つ選べ。

- ① Aの抑圧されていた衝動に対する理解を求める。
- ② Aの器質的疾患を疑い、医療機関の受診を勧める。
- ③ Aに内省的構えを持たせるため、カウンセリングを受けるよう勧める。
- ④ Aに再犯リスクアセスメントを実施した後、対応策を考えたいと提案する。
- ⑤ Aの会社や家庭におけるストレスを明らかにし、それを低減させるよう助言する。

問143 20代の男性 A、会社員。A は、300名の従業員が在籍する事業所に勤務している。A は、うつ病の診断により、3か月前から休職している。現在は主治医との診察のほかに、勤務先の企業が契約している外部のメンタルヘルス相談機関において、公認心理師 B とのカウンセリングを継続している。抑うつ気分は軽快し、睡眠リズムや食欲等も改善している。直近3週間の生活リズムを記載した表によれば、平日は職場近くの図書館で新聞や仕事に関連する図書を読む日課を続けている。職場復帰に向けた意欲も高まっており、主治医は職場復帰に賛同している。

次に B が行うこととして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 傷病手当金の制度や手続について、A に説明する。
- ② A の診断名と病状について、管理監督者に報告する。
- ③ 職場復帰の意向について管理監督者に伝えるよう、A に提案する。
- ④ 職場復帰に関する意見書を作成し、A を通して管理監督者に提出する。
- ⑤ A の主治医と相談しながら職場復帰支援プランを作成し、産業医に提出する。

問144 35歳の男性A、会社員。Aは、製造業で1,000名以上の従業員が在籍する大規模事業所に勤務している。約3か月前に現在の部署に異動した。1か月ほど前から、疲労感が強く、体調不良を理由に欠勤することが増えた。考えもまとまらない気がするため、健康管理室に来室し、公認心理師Bと面談した。AはBに対して、現在の仕事を続けていく自信がないことや、部下や後輩の指導に難しさを感じていること、疲労感が持続していることなどを話した。前月の時間外労働は約90時間であった。

このときのBの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 面談内容に基づき、Aに休職を勧告する。
- ② Aの上司に連絡して、業務分掌の変更を要請する。
- ③ 医師による面接指導の申出を行うよう、Aに勧める。
- ④ 積極的に傾聴し、あまり仕事のことを気にしないよう、Aに助言する。
- ⑤ 急性のストレス反応であるため、秘密保持義務を遵守してAの定期的な観察を続ける。

問145 20歳の女性A、大学2年生。Aは「1か月前くらいから教室に入るのが怖くなった。このままでは単位を落としてしまう」と訴え、学生相談室に来室した。これまでの来室歴はなく、単位の取得状況にも問題はみられない。友人は少数だが関係は良好で、家族との関係にも不満はないという。睡眠や食欲の乱れもみられないが、同じ頃から電車に乗ることが怖くなり、外出が難しいと訴える。

公認心理師である相談員が、インタビュー面接で行う対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① Aに知能検査を行い知的水準を把握する。
- ② Aが何を問題だと考えているのかを把握する。
- ③ Aがどのような解決を望んでいるのかを把握する。
- ④ 恐怖が引き起こされる刺激について具体的に尋ねる。
- ⑤ 恐怖のために生じている困り事について具体的に尋ねる。

問146 55歳の男性A、会社員。Aは、意欲や活気がなくなってきたことから妻Bと共に受診した。Aは4か月前に部長に昇進し張り切って仕事をしてきたが、1か月前から次第に夜眠れなくなり、食欲も低下した。仕事に集中できず、部下に対して適切に指示ができなくなった。休日は部屋にこもり、問いかけに何も反応しないことが多くなり、飲酒量が増えた。診察時、問診に対する反応は鈍く、「もうだめです。先のことが見通せません。こんなはずじゃなかった」などと述べた。血液生化学検査に異常所見はみられなかった。診察後、医師から公認心理師Cに、Bに対して家族教育を行うよう指示があった。

CのBへの説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 薬物療法が治療の1つになります。
- ② 入院治療が必要になる可能性があります。
- ③ できる限り休息をとらせるようにしてください。
- ④ 今は落ち着いているので自殺の危険性は低いと思います。
- ⑤ 気晴らしに何かをさせることは負担になることもあります。

問147 12歳の女児A、小学6年生。Aは、7月初旬から休み始め、10月に入っても登校しなかったが、10月初旬の運動会が終わった翌週から週に一度ほど午前10時頃に一人で登校し、夕方まで保健室で過ごしている。担任教師は、Aと話をしたり、保護者と連絡を取ったりしながら、Aの欠席の原因を考えているが、Aの欠席の原因は分からないという。スクールカウンセラーBがAと保健室で面接した。Aは「教室には絶対に行きたくない」と言っている。

BのAへの対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 可能であれば保護者にAの様子を尋ねる。
- ② Aがいじめ被害に遭っていないかを確認する。
- ③ 家庭の状況について情報を収集し、虐待のリスクを検討する。
- ④ 養護教諭と連携し、Aに身体症状がないかどうかを確認する。
- ⑤ Aが毎日登校することを第一目標と考え、そのための支援方法を考える。

問148 A社は、新規に参入した建設業である。最近、高所作業中に作業器具を落下させる事例が立て続けに発生し、地上で作業する従業員が負傷する事故が相次いだ。そのため、事故防止のための委員会を立ち上げることになり、公認心理師が委員として選ばれた。委員会では、行政が推奨する落下物による事故防止マニュアルが用いられている。

事故防止の仕組みや制度の提案として、不適切なものを1つ選べ。

- ① マニュアルの見直し
- ② 規則違反や不安全行動を放置しない風土づくり
- ③ 過失を起こした者の責任を明らかにする仕組みづくり
- ④ 過去のエラーやニアミスを集積し、分析する部門の設置
- ⑤ 従業員にエラーやニアミスを率直に報告させるための研修

問149 17歳の女子A、高校2年生。Aは、自傷行為を主訴に公認心理師Bのもとを訪れ、カウンセリングが開始された。一度Aの自傷は収束したが、受験期になると再発した。AはBに「また自傷を始めたから失望しているんでしょう。カウンセリングを辞めたいって思ってるんでしょう」と言うことが増えた。BはAの自傷の再発に動揺していたが、その都度「そんなことはないですよ」と笑顔で答え続けた。ある日、Aはひどく自傷した腕をBに見せて「カウンセリングを辞める。そう望んでいるんでしょう」と怒鳴った。

この後のBの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 再発した原因はB自身の力量のなさであることを認め、Aに丁寧に謝る。
- ② 自傷の悪化を防ぐために、Aの望みどおり、カウンセリングを中断する。
- ③ 再発に対するBの動揺を隠ぺいしたことがAを不穏にさせた可能性について考え、それをAに伝える。
- ④ 自傷の悪化を防ぐために、Bに責任転嫁をするのは誤りであるとAに伝え、A自身の問題に対する直面化を行う。

問150 9歳の男児A、小学3年生。Aは、注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉と診断され、服薬している。Aは、待つことが苦手なで順番を守れない。課題が終わった順に担任教師Bに採点をしてもらう際、Aは列に並ばず横から入ってしまった。Bやクラスメイトから注意されると「どうせ俺なんて」と言ってふさぎ込んだり、かんしゃくを起こしたりするようになった。Bは何回もAを指導したが一向に改善せず、対応に困り、公認心理師であるスクールカウンセラーCに相談した。

CがBにまず伝えることとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 学級での環境調整の具体案を伝える。
- ② Aに自分の行動を反省させる必要があると伝える。
- ③ Aがルールを守ることができるようになるまで繰り返し指導する必要があると伝える。
- ④ Aの年齢を考えると、この種の行動は自然に収まるので、特別な対応はせず、見守るのがよいと伝える。

問151 50歳の女性A、看護師。Aは看護師長として、職場では部署をまとめ、後進を育てることが期待されている。これまで理想の看護を追求してきたが、最近は心身ともに疲弊し、仕事が流れ作業のように思えてならない。一方、同居する義母の介護が始まり、介護と仕事の両立にも悩んでいる。義母やその長男である夫から、介護は嫁の務めと決めつけられていることがAの悩みを深め、仕事の疲れも影響するためか、家庭ではつい不機嫌になり、家族に強く当たるが増えている。

Aの事例を説明する概念として、不適切なものを1つ選べ。

- ① スピルオーバー
- ② エキスパート・システム
- ③ ジェンダー・ステレオタイプ
- ④ ワーク・ファミリー・コンフリクト

問152 16歳の男子A、高校1年生。Aは、スクールカウンセラーBのいる相談室に来室した。最初に「ここで話したことは、先生には伝わらないですか」と確認した上で話し出した。「小さいときからズボンを履くのが嫌だった」「今も、男子トイレや男子更衣室を使うのが苦痛でたまらない」「こんな自分は生まれてこなければよかった、いっそのこと死にたい」「親には心配をかけたくないので話していないが、自分のことを分かってほしい」と言う。

BのAへの初期の対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① Aの気持ちを推察し、保護者面接を行いAの苦しみを伝える。
- ② 性転換手術やホルモン治療を専門的に行っている病院を紹介する。
- ③ 誰かに相談することはカミングアウトにもなるため、相談への抵抗が強いことに配慮する。
- ④ クラスメイトの理解が必要であると考え、Bから担任教師へクラス全体に説明するよう依頼する。
- ⑤ 自殺のおそれがあるため、教師又は保護者と情報を共有するに当たりAの了解を得るよう努める。

問153 14歳の男子A、中学2年生。Aについて担任教師Bがスクールカウンセラーである公認心理師Cに相談した。Bによれば、Aは小学校から自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉の診断を受けているとの引継ぎがあり、通級指導も受けている。最近、授業中にAが同じ質問をしつこく何度も繰り返すことや、寝ているAを起こそうとしたクラスメイトに殴りかかることが数回あり、BはこのままではAがいじめの標的になるのではないかと危惧している。

Cの対応として適切なものを2つ選べ。

- ① 保護者の了解を得て主治医と連携する。
- ② 周囲とのトラブルや孤立経験を通して、Aに正しい行動を考えさせる。
- ③ Aから不快な言動を受けた子どもに、発達障害の特徴を伝え、我慢するように指導する。
- ④ Aの指導に関わる教師たちに、Aの行動は障害特性によるものであることを説明し、理解を促す。
- ⑤ 衝動的で乱暴な行動は過去のいじめのフラッシュバックと考え、過去のことは忘れるようにAに助言する。

問154 中学校の担任教師 A。A は、同じ部活動の女子中学生 3 名について、スクールカウンセラー B に、次のように相談した。3 名は、1 か月ほど前から教室に入ることができずに会議室で勉強しており、A が学習指導をしながら話を聞いていた。先日、生徒たちの表情も良いため、教室に入ることを提案すると、3 名は「教室は難しいが、放課後の部活動なら見学したい」と言った。早速、A が学年教師の会議で報告したところ、他の教師から「授業に参加できない生徒が部活動を見学するのは問題があるのではないか」との意見が出された。

この場合の B の対応として、適切なものを 2 つ 選べ。

- ① 部活の顧問と話し合う。
- ② A に援助チームの構築を提案する。
- ③ B が学年教師の会議に参加して話し合う。
- ④ 学年教師の会議の意見に従うよう A に助言する。
- ⑤ A がコーディネーターとして機能するように助言する。

